

# 評価項目

## I 統合人事システム選定委員による評価

### 1 機能要件に関する評価

項目	参考（評価の主な視点）	評価
①職員が使いやすいシステムであるか	<p>入力時における画面展開がわかりやすく、操作の習得が容易であるか。</p> <p>必要な情報を容易に検索・集計できる機能や検索条件を保存する機能など、簡単にシステム内の情報を確認できるか。</p> <p>個別開発（アドオン・カスタマイズ）をせずに柔軟にシステムの設定変更が行えるか。</p> <p>システムの設定変更はプログラミングの知識がない職員でも対応できる仕組みであるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
②独自の人事・給与制度にも柔軟に対応できるシステムであるか	<p>事業団独自の人事制度に柔軟に対応できるシステムであるか。 (組織図の作成、職員情報登録、研修や資格取得の登録)</p> <p>事業団独自の給与制度に柔軟に対応できるシステムであるか。 (約10種類の給料表、約50種類の手当、約10種類の賞与などの支給額の計算)</p> <p>事業団独自の給与控除項目について柔軟に対応できるシステムであるか。 (互助会費、年金共済掛金、組合費、親睦会費などの控除額の計算)</p> <p>人事情報の閲覧や給与支給手続きに関する権限を柔軟に設定できるか。また、権限付与は人数制限なく設定することができるか。</p> <p>必要な情報を帳票としてデータ出力できるか。また帳票のレイアウトを柔軟に設定し、その設定内容を保存して繰り返し使用することが可能であるか。</p> <p>履歴書や資格証などペーパー管理している資料をシステム内で管理するなど、個人情報を管理しやすいシステムであるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
③人事給与と勤怠管理の連携が可能なシステムであるか	<p>勤怠管理と給与計算が自動連携することで、効率的な業務を推進できる機能を備えているか。</p> <p>人事給与・申請・勤怠管理は、同一パッケージでの提供が可能であり、連携やメンテナンスに手間が発生しない仕組みであるか。</p> <p>勤怠管理について、当事業団の多様な勤務実態に応じた対応が可能であるか。 (複数の勤務パターン登録、勤怠の打刻方法、時間外労働の管理、休暇取得など)</p> <p>休暇管理では、年休有給休暇以外の特別休暇や育児休業等についても管理できる機能を有しているか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
④各種申請手続き等のデジタル化が図れるシステムであるか	<p>給与明細の電子化が可能か。職員へのWEB明細の配布方法や確認方法はわかりやすいか。</p> <p>WEBによる申請（通勤、扶養、住居、育児休業、年末調整など）は、初めて使う職員にも操作しやすい入力画面となっているか。また、その承認画面についても同様であるか。</p> <p>申請から承認までの一連の手続きを全てデジタル化することで業務の省力化が図れるシステムであるか。</p> <p>システム外で実施している人事考課や勤務に関する意向調査をシステム上で実施できる機能を有しているか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
合計点 ① （80点満点）		

## 2 非機能要件に関する評価

項目	参考（評価の主な視点）	評価
⑤技術的な前提条件と対応ポリシー、利用規模及び性能に関する要件は適正か。	<p>API連携又はCSV形式によるデータの受け渡しにより、他のシステムとの連携を行うことが可能なシステムか。</p> <p>システム対応できるWEBブラウザのセキュリティパッチ及びバージョンアップに対し、追加費用を生じることなく、速やかにシステム側で対応できるものか。</p> <p>約3,000名の職員が利用することを想定した上で、サービスの安定稼働と全ての利用者がストレスなく操作できる快適なレスポンスタイムの実現が可能なシステムか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>c 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
⑥セキュリティ対策・バックアップ機能は十分に備えられているか。	<p>不正アクセスや情報漏えいなどに対する具体的なセキュリティ対策が行われているか。</p> <p>大規模災害等が発生した場合に備えてデータ保管やシステムの稼働維持又は早期復旧に関する対策を行っているか。</p> <p>バックアップ機能は、過去30日以上データを保存できる機能を有し、障害が生じた場合にはバックアップデータを使用して速やかに復旧できる仕組みを設けているか。</p> <p>提案内容は、仕様書に規定するセキュリティ対策の具体的な要件を満たすものであるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>c 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
⑦クラウドサービスの運用・保守体制は適正か	<p>安定的かつ継続的なサービス提供のための運用・保守体制に係る具体的なサービスが提案されて、その提案内容は、仕様書に規定するサービスレベルを満たすものであるか。</p> <p>本格稼働後も当法人の要望に応じて打ち合わせを行い、システム機能の改善などに関する提案を行う体制が整っているか。（運用支援体制が充実しているか。）</p> <p>トラブル発生時や当事業団からの問い合わせに誠意を持って対応できる体制であると評価できるか。</p> <p>法改正や事業団内の給与制度の改正について、無償でバージョンアップ対応が可能で柔軟に対応することはできるか。また、クライアント端末の入替やOSのアップデートに無償で対応できるシステムであるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>c 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
合計点 ② （60点満点）		

### 3 その他の評価

項目	参考（評価の主な視点）	評価
⑧統合人事システムの構築支援・担当者向けの操作説明会等の実施支援について	<p>統合人事システムの構築支援及び担当者向けの操作説明会等の実施支援について、仕様書に規定する業務範囲を踏まえた明確かつ具体的な提案であったか。</p> <p>提案は、当事業団が仕様書に定めた内容を反映したものであり、円滑なシステム構築が実現可能なものといえるか。</p> <p>事務局が、システム導入にあたり、給与や勤怠管理等の担当者に対し、操作説明等を実施するにあたって、これらに対する業者の支援内容は、システム運用が円滑に進むものであるといえるか。</p> <p>プロジェクトのマネジメント、構築、テスト等の各業務分野に関する実施体制が整っているか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
⑨統合人事システムへのデータ移行支援について	<p>データ移行の実施方法について、仕様書に規定するデータ移行に係る業務範囲を踏まえた明確かつ具体的な提案であったか。</p> <p>提案内容は、当事業団が仕様書に定めた内容を反映したものであり、円滑なデータ移行が実現可能なものといえるか。</p> <p>提案内容は、当事業団の担当者のデータ移行に係る事務負担の軽減が図れる内容であるといえるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
⑩プレゼンテーション全体の評価について	<p>提案者のプレゼンテーションは理解しやすい内容であったか。また質問への回答は明確であったか。</p> <p>紹介されたシステムの製品コンセプトや特徴は魅力的なものであったか。</p> <p>システム化により期待できる事務の効率化（他事業者との比較優位性）について、理由や根拠とともに明確に説明できていたか。</p> <p>仕様書に記載がある業務内容等のほかに、提案者独自の追加提案が示されており、有益なものであるか。</p>	<p>a 極めて優れている(20点)</p> <p>b 優れている(15点)</p> <p>C 普通(10点)</p> <p>d 劣る(5点)</p> <p>e 極めて劣る(0点)</p>
合計点 ③ （60点満点）		

## II 統合人事システム機能要件一覧表による評価

項 目
統合人事システム機能要件一覧表の回答による評価 (100点満点) 【評価の考え方】 全702項目のうち、「標準機能で対応可」と回答した項目数の割合で評価 (例) 全702項目中、500項目について「標準機能で対応可」と回答があった場合、 $100点 \times 500項目 / 702項目 = 71.2 \div 71点$ (小数点以下切捨て)

## III 総合評価

項 目
統合人事システム選定委員による評価 (合計点①+合計点②+合計点③) (200点満点)
統合人事システム機能要件一覧表による評価 (100点満点)
総 合 計 (300点満点)

### 【参考】見積額の評価

項 目	
導入初年度必要経費 (ライセンス購入費・保守費用・クラウド費用を含む) ④	費用
	順位
2年目以降の必要経費 (保守費用・クラウド費用) ⑤	費用
	順位
合計額 (④+⑤)	費用
	順位
特記事項	